

記入例

様式第2（第7条関係）

実施計画書

1 申請団体の概要

団 体 名	〇〇〇の会		
代 表 者 氏 名	安城 太郎		
団 体 連 絡 先 (申請担当者)	氏 名	安城 花子	
	住 所	〒446-8501 安城市桜町18番23号	
	連絡先	Tel : 0566-71-2218	
		Fax : 0566-72-3741	
	e-mail : kyodo@city.anjo.lg.jp		
設 立 年 月 日	平成〇年 〇月〇〇日	構成員数	15人
活動の目的・目標 ※何を目指して活動しているのかを簡潔に記入	本会は男女共同参画を推進するために設立された。 広く男女共同参画を啓発し、誰もが自立した人間として、その人権を尊重し、共に責任を分かち合い、豊かな生き方ができる社会の実現を目指す。		
活 動 の 内 容 ・ 活 動 実 績 ※具体的に記入	男女共同参画を広く知ってもらうために、啓発活動を行う。 ・イベント開催(年1回) ・セミナー(年2回)		

2 申請事業概要

事 業 名	〇〇〇〇〇事業	
協働団体 行政協働型事業・ 協働提案型事業の 場合に記入	団 体 名	代表者名
	◇◇◇会	碧海 桜子

事業の目的 申請する事業の ・解決したい地域課題 ・事業の対象者 ・解決策 を必ず記入	<解決したい地域課題> 男女平等という言葉の認知度は広まっているものの、「家庭生活において男女平等と考える市民の割合」は3割程度にとどまっている。 <事業対象者>老若男女問わず多くの方 <解決策>ジェンダーバイアスやアンコンシャスバイアスといった、男女差別や無意識の差別があることや、LGBTなどの性的少数者の方についてなどを、イベントや啓発誌で知ってもらい、人権を尊重し、多様性を認め合え、誰でも豊かな生活が送れる社会に近づけ		
参加者負担に関する考え方を記入 事業の内容・特徴 協働相手がいる場合、協働するメリット・役割分担を記載	(1)〇〇イベントの実施 時期：10月頃/場所：アンフォーレ/参加者：100人程度 参加費：100円 LGBT当事者や大学教授など複数の講師を招き、パネルディスカッションや質疑応答の時間を設け、参加者の理解をより深めてもらう。配布する資料分の金額のみ参加者に負担してもらう。 (2)啓発誌の発行 時期：10月頃/上記イベント内/200部配布 10～11月頃/町内会・公民館/800部配布(持込・郵送) LGBTの説明やどのような差別があるか具体的な事例などを載せ、小学生でも分かる内容のものにする。 ・当団体は毎年イベントを行っているのでイベント運営のノウハウがあり、啓発誌作成は協働団体である◇◇◇会の得意とする分野であるため、各団体で分担して行う。チラシ配布や参加者募集、開催準備などは協働で実施することにより効率よくできる。		
事業計画	時期 4～6月 7～8月 9月 10月 11月	内 容 イベント 内容検討・講師依頼 (主担当：〇〇〇の会) 啓発誌 掲載内容検討 (主担当：◇◇◇会) イベント 内容決定・チラシ作成 啓発誌 内容決定・情報収集等 イベント チラシ配布・参加者募集 啓発誌 原稿作成・印刷発注 イベント 開催 啓発誌 配布 実績報告書 作成	場所 アンフォーレ・交流センター・町内会等 アンフォーレ
事業の実施により期待される効果	複数の講師を招き、いろいろな立場からの話を聞くこと、また、チラシや啓発誌を多くの人に配布することで、イベント参加者や啓発誌読者など多くの方に、男女差別や無意識の差別があることや、LGBTなどの性的少数者の方についてなど、男女共同参画に関する理解を深めることができ、男女共同参画社会の実現に近づける。		

参加者数などの事業規模を記載

具体的な方法を記入

他団体と協働で実施する場合は、必ずそれぞれの役割分担を記入